

単一労働組合結成大会順序

- 一、開会の辞
- 一、議長選舉
- 一、議長挨拶
- 二、副議長の選任並大会書記の任命
- 二、大会委員の選任
 - イ、資格審査委員
 - ロ、宣言綱領、規約審査委員
 - ハ、役員詮衡委員
 - ニ、議案採擇委員
 - ホ、議事進行委員
- 一、祝詞、祝電の披露
- 一、資格審査に関する報告

大会成立

- 一、一般経過並準備委員会報告
- 一、議案採擇に関する報告

- 一、大会議案審議
 - 一、宣言、綱領、規約審議の件
 - 二、役員選舉の件
 - 三、共済組合法人化並に補助金増額の件
 - 四、割増本給繰り入れの件
 - 五、退職手当金増加の件
 - 六、職夫の職工採用徹底化の件
 - 七、職夫の貸金制改正の件
 - 八、合同慰勞金の支給額、期日公表の件
 - 九、職夫へ合同慰勞金支給の件
 - 十、團體誌發行の件
 - 十一、団体協約確立の件
 - 十二、日本労働組合會議加盟の件
 - 十三、非工程割増工場収入増加の件
 - 十四、所内諸工事の請負化反對の件
- 一、新役員の發表
- 一、宣言綱領の發表
- 一、役員代表の挨拶
- 一、閉会の辞

綱領 (案)

- 一、われ等は相愛互助の精神に沿ひ、智識の啓發、技術の進歩、徳性の涵養を圖り、自己の向上と完成を期す。
- 一、われ等は製鐵産業の重要性に鑑み、全従業員の自主的組織と訓練に依り、製鐵産業の平和と發展に協力すると共に労働條件の維持改善並びに共同福利の増進を期す。
- 一、われ等は國情に即し、健全なる労働組合主義に依つて産業に協力し、合理的なる社會進化を促進して健全なる新社會の建設を期す。

宣言 (案)

八幡製鐵所全従業員が多年翹望せる単一労働組合は茲に結成され、全従業員の自主的大同團結は完結された。惟ふに資本主義の矛盾より必然的に發生せる世界經濟恐慌は資本家階級の必死の對策を以てしても之を匡救することを得ず労働階級の生活は將に破滅の前途にあつて産業の基礎は動搖不安の危機に晒され、全國民的憔悴と失望に乗じて難多の運動が蠢き社會状態は混沌としてゐる。かかる状態に當面して結成されたる単一労働組合當面の任務は、製鐵産業の重要性に鑑み、急速に新組合の組織を擴大して陣營の整理を圖り以て全従業員の労働條件、福利共済施設を維持改善し、共同の福利を増進して、健全なる國民經濟を建設する基りたり得る實りの涵養に在る。單一労働組合は會員の融和協力に依つて、相愛互助の理想に従ひ識見の開發、技術の進歩、徳性の涵養を圖り以つて自己の向上と完成を期すと共に健全なる労働組合の發展に依つて全従業員の統制秩序ある自主的組織を完成して極右極左の浮薄なる流行運動の浸潤擡頭を阻止し、かかる輕薄にして無責任なる思想運動が過去の幾多の事實を以て明らかにしてゐるが如く常に産業の平和と労働階級の生活を動搖破壞する階級闘争第一主義の無意義なる紛争の發生を防止し健全にして、實力ある労働組合が産業に協力してのみ、初めて眞の産業平和を確立し得ることを確信するが故に、政黨政派を超越して眞に全従業員の自主的大同團結の實力を以つて製鐵産業に協力すると共に製鐵所全従業員の生活權の確保を期するものである。

更に製鐵産業は國家國防的重要産業にして、近代産業全般の基礎をなすものである。かかる國家全産業の人物脈をなす製鐵事業を獨り營利本位の經營に任ねるは製鐵産業の基礎を危殆に陥る重大なる原因となる。單一労働組合は製鐵國營の信念の上に立ち、全従業員の統制秩序ある組織の實力を以つて製鐵産業の資本家本位の經營化を嚴重に監視してこの根本使命の達成を期するものである。

單一労働組合は云ふまでもなく、労働組合の組織力を政治闘争の動員化する共產主義並にファシズム運動に絶対反對すると共に健全なる労働組合主義に依つて合理的なる社會進化を促進して健全なる新社會を建設し得ると確信し労働階級解放の大道を一路邁進するものである。

茲に光輝ある結成大会を舉行するに當つてわれ等の根本方針を中外に宣言する。

昭和八年八月二十六日

単一労働組合結成大会